

指定管理者制度活用事業 評価シート(特別養護老人ホーム)

1. 基本事項

施設名称	川崎市特別養護老人ホームひらまの里	評価対象年度	平成28年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 ・代表者名 理事長 長谷川 忠司 ・住所 川崎市高津区久地3-13-1	評価者	高齢者事業推進課長
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日	所管課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

2. 事業実績

利用実績	①特別養護老人ホーム事業(入所定員 84人) 在籍者数 81人(平成29年3月31日現在:入院等不在者を含む) <table border="1"> <tr> <td>介護度</td> <td>要介護1</td> <td>要介護2</td> <td>要介護3</td> <td>要介護4</td> <td>要介護5</td> <td>その他</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>32</td> <td>16</td> <td>24</td> <td>0</td> <td>81</td> </tr> </table>	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計	利用者数	4	5	32	16	24	0	81											
	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計																				
	利用者数	4	5	32	16	24	0	81																				
	②通所介護事業(通所定員 35人/日) 年間延べ利用者数 4,657人 :定員に対する稼働率 43.2 % <table border="1"> <tr> <td></td> <td>4月</td> <td>5月</td> <td>6月</td> <td>7月</td> <td>8月</td> <td>9月</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>401</td> <td>405</td> <td>400</td> <td>387</td> <td>421</td> <td>383</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10月</td> <td>11月</td> <td>12月</td> <td>1月</td> <td>2月</td> <td>3月</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>369</td> <td>382</td> <td>378</td> <td>352</td> <td>366</td> <td>413</td> </tr> </table>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	延べ利用者数	401	405	400	387	421	383		10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ利用者数	369	382	378	352	366
	4月	5月	6月	7月	8月	9月																						
延べ利用者数	401	405	400	387	421	383																						
	10月	11月	12月	1月	2月	3月																						
延べ利用者数	369	382	378	352	366	413																						
③短期入所事業(通所定員 16人) 年間延べ利用者数 4,086人:定員に対する稼働率70% <table border="1"> <tr> <td></td> <td>4月</td> <td>5月</td> <td>6月</td> <td>7月</td> <td>8月</td> <td>9月</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>330</td> <td>358</td> <td>300</td> <td>364</td> <td>377</td> <td>391</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10月</td> <td>11月</td> <td>12月</td> <td>1月</td> <td>2月</td> <td>3月</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>344</td> <td>336</td> <td>331</td> <td>291</td> <td>321</td> <td>343</td> </tr> </table>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	延べ利用者数	330	358	300	364	377	391		10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ利用者数	344	336	331	291	321	343
	4月	5月	6月	7月	8月	9月																						
延べ利用者数	330	358	300	364	377	391																						
	10月	11月	12月	1月	2月	3月																						
延べ利用者数	344	336	331	291	321	343																						
収支実績	④居宅介護支援事業 給付管理者数(平成29年3月分) <table border="1"> <tr> <td>介護度</td> <td>要介護1</td> <td>要介護2</td> <td>要介護3</td> <td>要介護4</td> <td>要介護5</td> <td>その他</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>管理者数</td> <td>40</td> <td>19</td> <td>15</td> <td>11</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>89</td> </tr> </table>	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計	管理者数	40	19	15	11	4	0	89											
	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計																				
	管理者数	40	19	15	11	4	0	89																				
	①特別養護老人ホーム事業 (収入) <table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>272,402,786</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>72,986,570</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>846,194</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>346,235,550</td> </tr> </table>	介護料収入	272,402,786	利用者等利用料収入	72,986,570	その他の事業収入	846,194	合計	346,235,550	(支出) (単位:円) <table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>222,957,797</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>58,350,275</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>45,410,632</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>326,718,704</td> </tr> <tr> <td>(収支差額)</td> <td>19,516,846</td> </tr> </table>	人件費	222,957,797	事業費	58,350,275	事務費	45,410,632	合計	326,718,704	(収支差額)	19,516,846								
	介護料収入	272,402,786																										
	利用者等利用料収入	72,986,570																										
	その他の事業収入	846,194																										
	合計	346,235,550																										
	人件費	222,957,797																										
	事業費	58,350,275																										
事務費	45,410,632																											
合計	326,718,704																											
(収支差額)	19,516,846																											
②通所介護事業 (収入) <table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>38,958,354</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>2,890,800</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>224,100</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>42,073,254</td> </tr> </table>	介護料収入	38,958,354	利用者等利用料収入	2,890,800	その他の事業収入	224,100	合計	42,073,254	(支出) <table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>42,753,866</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>7,453,466</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>6,643,987</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>56,851,319</td> </tr> <tr> <td>(収支差額)</td> <td>▲ 14,778,065</td> </tr> </table>	人件費	42,753,866	事業費	7,453,466	事務費	6,643,987	合計	56,851,319	(収支差額)	▲ 14,778,065									
介護料収入	38,958,354																											
利用者等利用料収入	2,890,800																											
その他の事業収入	224,100																											
合計	42,073,254																											
人件費	42,753,866																											
事業費	7,453,466																											
事務費	6,643,987																											
合計	56,851,319																											
(収支差額)	▲ 14,778,065																											
③短期入所事業 (収入) <table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>40,158,155</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>9,916,170</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>56,340</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>50,130,665</td> </tr> </table>	介護料収入	40,158,155	利用者等利用料収入	9,916,170	その他の事業収入	56,340	合計	50,130,665	(支出) <table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>28,078,722</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>9,076,682</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>10,663,270</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>47,818,674</td> </tr> <tr> <td>(収支差額)</td> <td>2,311,991</td> </tr> </table>	人件費	28,078,722	事業費	9,076,682	事務費	10,663,270	合計	47,818,674	(収支差額)	2,311,991									
介護料収入	40,158,155																											
利用者等利用料収入	9,916,170																											
その他の事業収入	56,340																											
合計	50,130,665																											
人件費	28,078,722																											
事業費	9,076,682																											
事務費	10,663,270																											
合計	47,818,674																											
(収支差額)	2,311,991																											
④居宅介護支援事業 (収入) <table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>18,323,435</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>39,600</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>18,363,035</td> </tr> </table>	介護料収入	18,323,435	利用者等利用料収入	0	その他の事業収入	39,600	合計	18,363,035	(支出) <table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>16,059,774</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>372,261</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>16,432,035</td> </tr> <tr> <td>(収支差額)</td> <td>1,931,000</td> </tr> </table>	人件費	16,059,774	事業費	0	事務費	372,261	合計	16,432,035	(収支差額)	1,931,000									
介護料収入	18,323,435																											
利用者等利用料収入	0																											
その他の事業収入	39,600																											
合計	18,363,035																											
人件費	16,059,774																											
事業費	0																											
事務費	372,261																											
合計	16,432,035																											
(収支差額)	1,931,000																											
(収入) <table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>369,842,730</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>85,793,540</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>1,166,234</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>456,802,504</td> </tr> </table>	介護料収入	369,842,730	利用者等利用料収入	85,793,540	その他の事業収入	1,166,234	合計	456,802,504	(支出) <table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>309,850,159</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>74,880,423</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>63,090,150</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>447,820,732</td> </tr> <tr> <td>(収支差額)</td> <td>8,981,772</td> </tr> </table>	人件費	309,850,159	事業費	74,880,423	事務費	63,090,150	合計	447,820,732	(収支差額)	8,981,772									
介護料収入	369,842,730																											
利用者等利用料収入	85,793,540																											
その他の事業収入	1,166,234																											
合計	456,802,504																											
人件費	309,850,159																											
事業費	74,880,423																											
事務費	63,090,150																											
合計	447,820,732																											
(収支差額)	8,981,772																											
サービス向上の取組	○施設が主催する研修には新人職員が優先して参加できるよう勤務を調整したり、職員が学びたいと思っていることを学べるような研修を組み、研修報告にコメントを入れるようにするなどの細かい配慮、職員間のコミュニケーション向上が職員のスキルアップ、モチベーションアップにつながり、結果として利用者へのサービス向上につながる好循環を生んでいる。 ○危険予知訓練、緊急時研修、災害時訓練等の訓練を定期的実施し、発生時に対応できる体制づくりと業務改善に努めて前年度より、全般的に事故件数を減少させた。 ○感染症対策委員会を定期的実施し、実技を盛り込んだ研修も実施。利用者の発症を未然に防いだ。																											

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点	
適正な業務実施	質の高いサービスの提供	利用者のニーズに合わせたサービス提供が行われているか	10	4	8	
		利用者等への情報提供等は十分に行われているか				
		地域交流(行事の開催やボランティアの受入等)を積極的に行っているか				
	健康管理	利用者の健康管理は適切に行われているか	10	4	8	
		感染症への対策は適切に行われているか				
<p>(評価の理由)</p> <p>食事内容について、日本摂食嚥下リハビリテーション学会分類基準に準じた食形態への見直しを行い、刻み食を廃止して軟菜食を導入し4段階の食形態(普通食・軟菜食・ソフト食・柔らかソフト食)での提供としより細かい状態の変化に対応させている。また、「川崎市在宅療養連携ノート」の「嚥下連絡票」を活用し、食形態変更時にご家族にわかりやすく説明できるよう工夫している。</p> <p>県介護サービス情報公表制度における調査の実施の他、平成24年度に受審した第三者評価結果については法人ホームページに公表している。</p> <p>介護相談員を受け入れ利用者のニーズ把握と質の高い介護実践に努めた。</p> <p>特別養護老人ホームでは延べ925名のボランティアの方が来所。ボランティア、利用者双方が楽しみとなる活動を定期的に継続している。通所介護では、近隣保育園、小学校、併設の特別養護老人ホーム利用者、障害者支援施設利用者と定期的交流を実施している。</p> <p>近隣の2小学校の授業に講師として伺い、PTA等にも地域包括ケアシステムの普及啓発を実施した。</p> <p>褥瘡対策委員会を立ち上げ、褥瘡予防についての指針及びマニュアルを整備し、改めて褥瘡予防の方法を再確認しハイリスク者の対応方法について再検討を行い、毎日の皮膚観察による早期発見・早期対応と併せて褥瘡の発生を最小限に抑えた。</p> <p>継続して感染症対策委員会を定期的に実施し、研修も実技を盛り込んで実際の対応に役立てている。利用者の発症はなかった。</p>						
収支計画・実績		計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3	
		支出に見合う効果は得られているか				
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか				
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	5	3	3	
		収入増加のための具体的な取組が為されているか				
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	5	4	4	
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
<p>(評価の理由)</p> <p>特別養護老人ホームでは退居者が出る前に入居判定会議を行うことを徹底している。短期入所では新規受入を増やし、緊急時の受入を可能な限り行うなどして収入確保に努めた。</p> <p>通所介護では空き情報の提供、中重度の利用者の積極的な受け入れを図り、また、中重度ケア体制加算を算定するなど、安定した施設運営に努めている。</p> <p>次年度より実施予定の会計監査人による監査の導入に備え研修会に参加し、会計事務所による予備調査を受けるなど準備を行った。予備調査において、概ね良好な評価を得た。</p>						
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8	
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか				
	業務改善によるサービス向上	サービス向上のための取り組みがなされているか	10	4	8	
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか				
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか				
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	10	4	8	
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)				
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
	<p>(評価の理由)</p> <p>生活場面のそれぞれの担当がチームとしての目標を持ちサービス向上に努めている。</p> <p>緊急のショートを受け入れ、川崎市高齢者等短期入所ベッド確保事業の他、養護老人緊急一時入所事業の受け入れに対応している。</p> <p>特別養護老人ホームにおいて、入浴の他、生活場面でも個別ケアが出来る体制の確立に努めた。リハビリパンツから布パンツへの移行等、排泄介助個別ケアを実施して皮膚ケアの質の向上につなげた。</p> <p>通所介護では中重度の方を積極的に受け入れ、認知症介護実践者研修の内容を活かしたプログラムを提供している。在宅生活を長く維持できることを視野に入れた、活動性のあるメニューと静的な活動を両方提供し、利用者の積極性に繋がるような支援に努めている。</p> <p>短期入所事業ではアンケート実施により、ニーズに対応した環境整備、処遇改善を検討。具体的な対応に努めている。</p> <p>居宅では、要支援の利用者や地域の高齢者に対し、指定事業者による既存のサービスと、多様な主体による多様なサービスを組み合わせたプランの提供に努めた。</p> <p>特別養護老人ホームにて余暇活動を楽しみたいという要望があったことから余暇活動時間を設定し、音楽療法の導入を行った。照明が暗いという要望に対して平成29年度にLED化を決めるなど、細かい要望にも真摯に対応策を立て業務改善に取り組んでいる。</p>					

組織管理体制	適正な管理体制の構築	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	5	4	4
		定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか	10	4	8
		業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか			
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		事故等が発生した場合における報告等の体制は適切か			
	コンプライアンス	実際に事故等が発生した場合の対応は適切であったか。また、再発防止の取り組みがなされたか。	5	4	4
		法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか			
		個人情報の管理は適切に行われているか			
	<p>(評価の理由)</p> <p>特別養護老人ホームでは介護支援専門員、看護師、介護職員(約33名中介護福祉士22名)を加配している。法人が主催する研修には新人職員が優先して参加できるように勤務を調整したり、職員が学びたいと思っていることを学べるような研修を組み、研修報告にコメントを入れるようにするなどの細かい配慮、職員間のコミュニケーション向上が職員のスキルアップ、モチベーションアップにつながり、結果として利用者へのサービス向上につながる好循環を生んでいる。また、法人が介護職員の資格手当を新設導入した。危険予知訓練、緊急時研修、災害時訓練等の訓練を定期的の実施し、発生時に対応できる体制づくりに努めている。事故防止委員会を月に1回開き、改めて1ヶ月の間に起った事故について検証し再発防止について再確認し、その内容を各係会議にフィードバックし利用者支援の変更や事故を起こしにくい環境づくりに繋げている。その他、事故後も都度対策を講じて、再発防止に努めている。「身体拘束についての取り扱い要領」や「高齢者虐待防止マニュアル」「個人情報保護に対する基本指針」「就業に関する各種規程」、介護保険関係の「運営の手引き」等を整備。関係通知のチェック、川崎市指定介護保険事業者集団指導講習会の内容と併せて必要な情報を職員間で共有し、毎月加算要件が満たされているかどうかの確認も実施。新規採用時には「コンプライアンスチェックノート」を活用し、必ず法令遵守についての研修を実施している。</p>				
適正な施設管理	施設・設備の保守管理、清掃、警備等	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	10	3	6
		業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
		施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
		施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
		外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
		設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
	<p>(評価の理由)</p> <p>業務日誌・点検記録修繕履歴等が適切に整備・保管している。施設内及び外構の清掃は、委託業者やボランティアの協力も得ながら定期的な整備を行っている。委託した警備会社の有人警備により、夜間・休日の警備を行い、夜間帯は施設内を4回・敷地内の巡回を2回行い火災予防、盗難防止を含め安全確保に努めている。外構の植栽は、労務補助職員により大規模な剪定を年2回行い、小規模な剪定、草刈、害虫駆除は日常的に実施。施設備品の廃棄・修理、消耗品の補充についても引き続き法人ルール、施設ルールに沿って適宜対応している</p>				

#### 4. 総合評価

評価点合計	76	評価ランク	B
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

研修会への参加や、情報収集を積極的に行う姿勢から幅広い情報の共有・提供を心がけている。ケア方法や使用器具などの改善、体制づくりと、業務を改善し、利用者に留まらず、職員の職場環境も改善できるように心がけ実施している。継続して、法人全体の方針として目標管理制度を導入し、職員それぞれが担う業務と、職員各個人のスキルについてPDCAサイクルに則った業務改善に努めている。このような取組が利用者へのさらなるサービス向上につながることを期待する。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

指導事項等なし